

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成 15年 6月 10日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11510
政策名 (章)	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくれます	評価担当課	市民部 ▼
基本施策名 (節名)	第5節 社会保険制度の充実に向けて		国民年金課
施策名	国民年金制度の充実に向けて	課長名	木村 文江

1 施策の概要・目的

国民年金制度は、老齢、障害又は死亡といった事故によって国民生活の安定がそこなわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする。このため、市民へ国民年金制度の理解と認識を高めるとともに、制度の充実を国に働きかける。

2 施策の現状

平成12年4月の地方分権一括法により、保険料の収納事務は平成14年4月から国に移行するなど、国民年金事務は機関委任事務から法定受託事務となった。市の事務は第1号被保険者に関する基礎年金事務、老齢福祉年金事務及び国への協力・連携事務があり、本庁及び出張所で事務を執り行っている。相談業務の充実に向けては、年金推進相談員の配置や出張所職員も含めた研修を毎年実施している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

35,669 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

58 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **97** 番目です。

(4) 施策に要している人員

15.1 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標名	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	単位	0 50 100	目標年度
指標1			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位	0 50 100	達成度 %
指標2			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位	0 50 100	達成度 %
指標3			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位	0 50 100	達成度 %

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

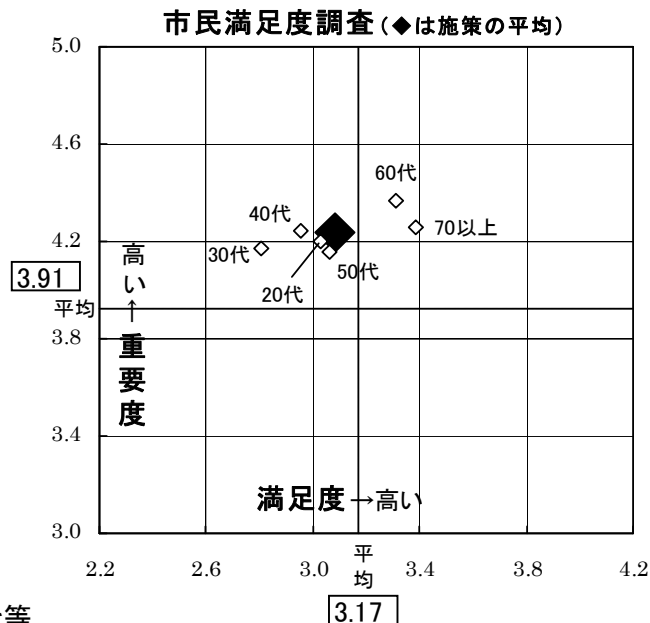
6 有効性…期待される効果があがっているか

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.079で、調査した51施策の中で39番目です。
 ◆この施策の重要度は、4.234で、調査した51施策の中で7番目です。
 ◆この施策の改善要望度は、0.817で、調査した51施策の中で8番目です。
 ◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30歳代で低くなっています。60歳代以上と50歳代以下の評価の差が目立っています。重要度も60歳代以上でやや高くなっています。

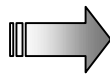
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向	
<input type="checkbox"/> 拡充する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する	
<input type="checkbox"/> 見直し	



説明及び具体的内容

- ・法定受託事務として国民年金市町村事務処理基準に基づき、適正な事務を執行すること。
- ・職員の資質向上を図るため、社会保険庁主催の研修会及び研究会への積極的参加と自主研修を開催すること。
- ・各種協議会を通じて、制度改革や制度の充実を要望すること。

11 2次評価

説明	
<input type="checkbox"/> A	
<input checked="" type="checkbox"/> B	
<input type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

国との役割分担の下、適正な事務執行を行うとともに、制度改革等必要な事項について、的確に要請等を行っていくべきである。

